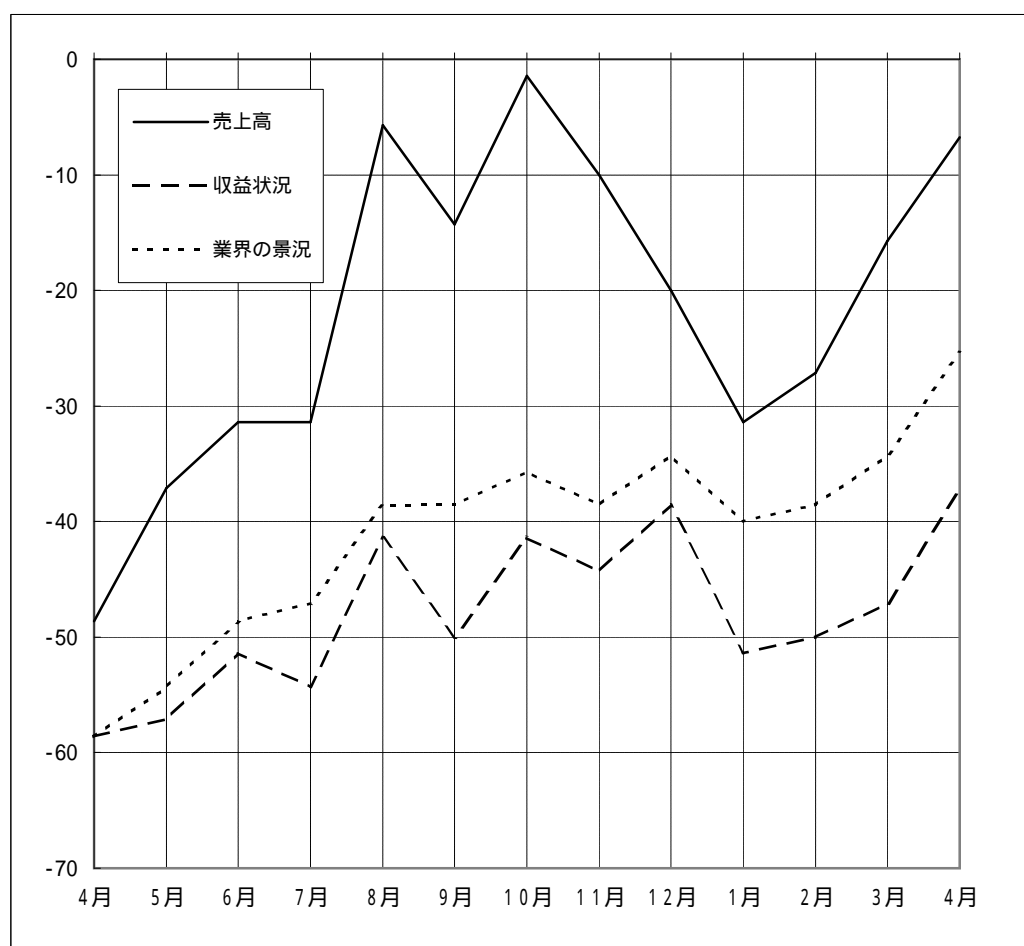


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年4月～平成16年4月

単位:ポイント



	h15						h16						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高	-49	-37.1	-31.4	-31.4	-5.7	-14.3	-1.4	-10.0	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7	-6.8
収益状況	-59	-57.1	-51.4	-54.3	-41.4	-50.0	-41.4	-44.3	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1	-37.3
業界の景況	-59	-54.3	-48.6	-47.1	-38.6	-38.6	-35.7	-38.6	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3	-25.4

4月のDI値をみると、前月より全ての項目で好転した。「売上高」は前月より8.9ポイント改善している。「収益状況」においては、9.8ポイント改善し、マイナス30%台に推移した。「景況」は前月より8.9ポイント改善し、マイナス20%台に推移した。ここ3ヶ月の傾向値をみると中小企業の業況は、持ち直しの動きが続いている。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、先月同様に材料価格の高騰が製品価格に転嫁できず利幅を減らしているとする報告が多かった。だが、「鉄鋼・金属」、「一般機器」の一部で輸出好調の明るい報告もあった。また、全体的に非製造業においても、先月同様需要減少に加え規制緩和や大型店等との競争激化とする報告が多かった。だが、サービス業の一部で需要増の明るい報告があった。

中小企業の景況は、持ち直しに向けた動きも一部であるものの総体的には依然として厳しく景気回復の実感は得られていない。